

## 第568回 放送番組審議会

1. 日 時 2020年11月17日(火)午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員長	大橋 綾子
副委員長	佐藤 健志
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝
委員	越沼 洋一
委員	緑川 智恵子
委員	林 英彰

欠席委員 1名

委員	加藤 千晶
----	-------

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
畑山 篤	(常務取締役 編成・報道制作担当)
池田 学	(取締役 関連会社担当)
石川 亮	(取締役 営業担当)
藤原 哲也	(報道制作局 報道部長)
遠藤 隆	(コンテンツ戦略室長 シニア・報道主幹)

事務局	小岩 祥子 (編成局長 兼 編成部長)
-----	---------------------

#### 4. 議 題

##### 1. ニュースプラス1 特集

大学病院が町を変えた ～岩手医大病院矢巾町移転から1年～

##### 2. その他

#### 5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

- 大学病院が町を変えた1年の節目ということで、メディアが報じることは必要であり番組タイトルは非常に的確だと思った。
- 移転が決まった時、なぜ矢巾町なのか疑問に思っていたので大変興味深い番組として見た。県民町民に開かれた病院として商業施設を立地したというが、一般の人が入れる場所であるということをもう少し広めても良かった。
- 医大病院を基点とした街づくりは、他の市町村から見れば羨ましいばかりで、とても真似できることではない。全国どこもが例外なく人口減少に直面する今、横並びで人口減少を分かち合うのか、思い切って伸ばせるところは伸ばすのかを考えるべき時ではないか。
- 町そして医大、町の商店主の話を取り上げていたが、元々地元に住んでいる人々はどのように受け止めているのか知りたい。
- 医大と矢巾町のかなり良い面が多く取り上げられており、広報番組みたいだと思った。病院関係者 2000 人位が居なくなった今の内丸の跡地がどうなっているか、というところを知りたい。
- 駅前の屋台村で取材した店を「屋台村」と呼び、店名を言わなかったのが残念だった。店の名前もナレーションで言ってもらえると、より親しみが湧き、覚えてもらえるのではないか。
- メインが医大なのか、矢巾町なのか、両方なのか曖昧に感じられた。
- 矢巾町だけでなく、様々な市町村の特徴を取り上げて岩手県全体が元気になれるような企画をこれからもやってほしいと思った。

##### 局側意見

- 医大の番組なのか、矢巾町の番組なのかは、タイトルで大学病院が町を変えたと明示しており町がどう変わっていったかという視点で制作した。
- 当初は、医療がどう変わったか？町がどう変わったか？をテーマに準備をしていたが、3月にコロナが発生して病院の取材ができなくなってしまった。その状況下で、ニュースと連携して番組制作できたことは良かった。もっともっと良い番組を作れるように努力していく。

○個別の店名を言わなかったのは、出す意味がなかったからで、それに対して不快な面があってもやむを得ないと思う。

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合の公表内容、方法及び年月日

- ①自社放送 11月24日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>